

2020
8月号

あさおふれんど

Asao
friends

発行元：認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター

①あさお和風の会
事業「和風つくりで
コミュニティ作り」

和風つくりと和揚げ大会を通じて、子どもたちにモノづくりの楽しさを体感させ、子どもたちの創造性を養う。また父母の参加により親子の会話を活発化し、地域社会の世代間交流を促進することに寄与する。

代表 廣嶋一康さん



参加した5団体とも、感染症対策に配慮しながら活動せざるをえないので、活動計画や活動の具体性を明確に示していくといった、今年度ならではの難しさが見え隠れするプレゼンテーションでした。

政府の緊急事態宣言が解除されて間もない6月5日金曜の午後、麻生区役所第3会議室において令和2年度「麻生区地域コミュニティ活動支援事業」審査会が開かれました。当初の予定（4月15日）からほぼ2か月遅れの開催でした。

令和2年度「コミュニティ活動支援事業」が決定！

子どもと大人がいつしよに活動する企画が二つ

その後、審査会が開催され、審査員による忌憚のない意見交換と審査の結果、本年度は次に挙げる2団体の活動支援を決定しました。偶然ながら、どちらの団体も子どもたちを中心に活動するところに共通点があります。

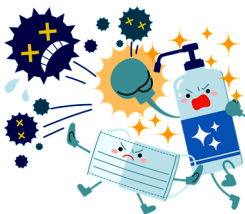
楽しい活動の輪が広がり、内容もますます充実するに違いないと期待がふくらみます。

理事 中山正夫

②こどもしんぶん部
事業「こどもしんぶん
で地元の魅力を再発見」

「こどもしんぶん部」の活動をきっかけに街を知ること、より自分の街が好きになり、生活が豊かになることを目指す。子どものユニークな視点で街の魅力を発掘できたら、大人も地域がもっと好きになると思う。取材・記事作成などを通して、子どもたちが自然と楽しみながら探求心や表現力を身につけ、学校や家庭だけではなく、新たな居場所や仲間作りをする。

代表 伊藤まゆみさん



※やまゆり来館時にはマスクの着用と、手指の除菌をお願いしています。
コロナに負けるな！ マスク越しでもあなたの笑顔は届きます♡

「あさお区民記者」募集中！

区民による区民のための
情報発信

麻生区には現在600以上の市民活動団体があります。これらを取材し、紹介しているのが「あさお区民記者」です。2008年の設立から今まで、取材した団体は200余。皆さんに紹介できていない団体がまだまだたくさんあります。

あなたの力を
貸してください

現在、「あさおふれんど」（年3回発行）で市民活動団体を紹介。取材記事はWEBでも見られます。そのほか「やまゆりニュース」（年3回発行、町内会回覧配布）では「A」「S」「A」「O」を頭文字に麻生区の歴史やお役立ち情報、防災計画など、区民に役立つ情報を発信しています。

見学・体験
大歓迎!!

編集会議は毎月第2木曜、15時から16時30分。麻生市民交流館やまゆりのサロンで行っています。

●お問合せ先

代表 中島久幸
なかしま ひさゆき

Tel 080・

5087・2665

シルバー限定、歌えばいつも「青春」

コーラス銀の会

「コーラス銀の会」は「60歳以上限定」の混声合唱団である。

麻生老人福祉センターでの講座受講者が会を結成し「上手でなくてもいい。自分のペースで歌って楽しもう」という、いかにも熟年らしいおらかなモットーを掲げて活動を続けてきた。現在、最高齢メンバーは89歳。指揮は洗足学園音楽大学の武田直之講師、ピアノ伴奏は同大卒の熊本智子先生のもとで練習に励み、毎年春の麻生音楽祭、秋のあさお合唱フェスタの発表会に出演している。

「会員募集中。歌が好きな人、コーラスが好きな人は誰でも大歓迎です」と溝下代表。未経験者や、音楽から離れて久しい人には不安もある



左：溝下代表
右：久松役員

りそうだが、心配は無用という。

「一曲ずつ丁寧に繰り返して練習しますから、初心者でも大丈夫ですよ。しばらく歌っていないと、声が出てくようなら、自分のペースで少しずつ歌っていけばいいのです。唱歌、フォークソングだけでなく、オペラも歌いますよ」と強調した。

新型コロナウイルスの影響で活動を停止していたが、ようやく7月から秋のあさお合唱フェスタに向けて練習を再開した。

取材・文 区民記者 新田武明



2019年12月「あさお合唱フェスタ」発表会で熱唱するメンバーたち 写真提供：コーラス銀の会

DATA

コーラス銀の会
 代表：溝下 義量
 連絡先：Tel. 044-954-3622 (溝下)
 Tel. 044-988-3921 (久松)
 設立：1991年12月
 会員：25名 (男性4名・女性21名)
 入会金：1000円
 会費：3000円/月
 活動日：月3回 火曜 13時～15時
 活動場所：麻生老人福祉センター ほか
 新百合ヶ丘駅近辺の会場

ことし2月には区内の福祉施設で歌声を披露した
 写真提供：麻生シンガーズアンリミテッド



麻生区が開いた「大人のための」はじめての「コーラス教室」が母体となって誕生した「麻生シンガーズアンリミテッド」。「アンリミテッド」の名の通り、年齢や住所、経験などは問わず、歌が好きなら誰でも歓迎というオープンな混声合唱団だ。

初心者向けの教室から「もつと続けたい」という有志が集まり、声楽家の中林嘉愛さんを講師に迎えて練習に励んできた。

メンバーは50代から70代中心。「馴染みのある曲をみんなで楽しく歌うのがモットー。ポップス系が多いですね」とは小橋義紀代表の説明だ。レパートリーには「翼をください」「パプリカ」「いい日旅立ち」など、誰もが聞き覚えのある曲が並んでいる。昨年は順調に練習をこなし、麻生音楽祭やあさおサークル祭などに出演したほか、福祉施設の慰問でも歌声を披露した。この春からはコロナ禍で全体での活動はいったん休止。

「合唱」再開へ、夢も見据えて

麻生シンガーズアンリミテッド

それでも、先生のピアノ演奏をフィイルにしてメンバーに送信し、各自がそれぞれ自宅で歌い込んでいる。オンラインによるマンツーマンレッスンも必要に応じて行っている。合唱団にとっては厳しい時期だが、全員での活動再開に向けて備えは怠りない。

「メンバーをもっと増やしたい。アカペラでも歌ってみたいし、楽器のアンサンブルと一緒にやりたいとも考えています」(小橋代表)

いくつもの夢が広がる「コロナ後」。誰もがそのときを待ちわびている。

取材・文 区民記者 佐藤次郎

DATA

あさお 麻生シンガーズアンリミテッド
 代表：小橋 義紀
 連絡先：Mail asaosingers@gmail.com
 Tel. 080-5192-0450 (小橋)
 設立：2019年1月
 会員：24名 (女性20名・男性4名)
 入会金：2000円
 会費：2000円/月
 活動日：月2回程度 (土日)
 活動場所：麻生市民館、同岡上分館、麻生市民交流館やまゆり
 URL: <https://asaosingers.wixsite.com/mysite>



子どもも大人も、いっしょに成長しよう

準備運

動、素振り
のあと、面
を付けての
基本打ち、
お互いの稽
古が通常の
メニュー。
8歳から
78歳まで
の有段者を含めた男女
が稽古には
げんでいる。面を付けたあとは子どもと大人に分かれるが、打ち込み稽古では大人が受け手になり打たせて指導する。全体練習は2時間弱で、そのあと、大人が自由に稽古する。

「修道館クラブ」は1984年にスタート。剣道を通じて、礼儀を身につけ、心身を鍛え、清く正しくたくましい人間形成を目指す。未経験者は、剣道の動きを一通り習得して防具を付けるまで1年程度かけるのが望ましい。基本が大切、遠回りのようで近道とのこと。

腕試しの場としては、麻生区内の大会が春と秋にある。秋には基本技のできを競う子どもだけの試合があり優勝したことも。川崎市の大き

修道館クラブ

な大会に出場することもある。夏と冬にはお楽しみ会、納会としてクラブ内で試合を行い、表彰式を兼ねて懇親会を行う。
見学や体験はいつでも可能。予定の変更があり得るので、メールで事前に連絡されたい。最初は竹刀だけではじめられるので、興味のある方はまず連絡を。
現在は新型コロナの影響で「武道室」が使用できないので、当面は予約が取れた場所で開催中。



親子や未経験者の入会をお待ちしています。

取材・文 区民記者 中島久幸

写真提供: 修道館クラブ

DATA

しゅうどうかん

修道館クラブ

代表: 秋元 周
連絡先: Mail shudokanclub@yahoo.co.jp
設立: 1984年
会員: 55名(男子43名・女子12名)
入会金: なし
会費: 学生・一般 三段以下12000円/年、四段以上5000円/年
活動日: 毎週日曜 9時~12時
活動場所: 王禅寺中央中学校 武道室
URL: <http://asaokukendo.sakura.ne.jp/shudokan.html>

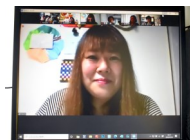


↑アルファ米の試食

年配者に1食に必要な量はどれくらい? 実際に食べてもらうことで備蓄すべき分量も具体的に分かってくる

トイレ講座→

災害時に使う簡易トイレも、実物を見せ解りやすく説明



←リモートでの防災講座

防災備蓄収納1級プランナーの資格を持つ小野さん。防災講座の講師依頼も受け付けている

DATA

まごころキッチンプロジェクト

代表: 小野 さくら
連絡先: Mail magokoro.kitchen.org@gmail.com
設立: 2018年4月
会員: 5名(男性4名・女性1名)
参加費: 500円 ※協賛ステッカーを配布
活動日: 講座などは不定期
活動場所: 川崎市内 各所
URL: <https://magokoro-kitchen.org/>

取材・文 区民記者 佐々木直子

協賛店舗に配布しているステッカー



いざというときに「できる範囲のまごころ」で、食料を提供する「まごころキッチンプロジェクト」。

代表の小野さくらさん(44)

は、介護士として勤務するかわら、非常時に困っている人へ、飲食提供ができる店や、飲食店以外でも、所有している駐車場の解放や、空いているスペースの提供、炊き出しの手伝いをするなど「できる範囲のまごころ」を提供できる、企業や施設・一般サポーターを募集している。

小野さんは、自らの資格や知識を活かし、地域のイベントにも積極的に参加。防災アドバイスをしたり、体験講座を開催したり、人と人をつなぎ、

“まごころ”で救われる人を助けたい

まごころキッチンプロジェクト

ネットワークを広げることで自助・共助の強化を図っている。

豪雨に台風、地震や新型コロナウイルス感染など、ひとたび災害となれば店舗も被災者となる可能性もある。できることは限られるが、共につながり、共に助け合い、ほんの少し「まごころ」を込めて、救える人に手を差し伸べたい。そんな思いで活動している。そんなプロジェクトへの参加を表明した店にはステッカーを配布。ステッカーが貼つてある店舗は、非常時に飲食物の提供ができるという意思表示となる。現在川崎市内で8店舗、麻生区内では3店舗が参加。プロジェクト参加登録は随時募集中。詳細は問い合わせを。

麻生市民交流館 やまゆり 臨時休館から 再開に向けて

政

府の緊急事態宣言を受け、4月10日から5月31日まで臨時休館していた「麻生市民交流館やまゆり」が、6月1日から段階的に開館しました。

再開に向けては利用者、スタッフの安心・安全を第一に考え、行政とも検討を重ね、3密「密閉」「密集」「密接」回避、消毒の徹底が行えるよう万全を期しています。

【おもな対策】

- ◆非接触型体温計貸出
 - ◆アルコール消毒液、設備消毒用液と清掃用ペーパー・手袋の設置
 - ◆平日実施の清掃業者による館内清掃に除菌作業を追加
 - ◆利用者に利用前後の消毒、およびマスクの着用をお願い
 - ◆会議室、サロンの定員を従来の半分に減員
 - ◆備品の貸し出しを中止
- そのほか、新たな「利用ガイドライン」を設定し、ホームページに掲載。ガイドラインは館内にも掲示し、周知徹底を図り、さらに、DIYで事務室内およびカウントーに飛沫防止パネルを設置。事務室ドアには換気ができるよう網戸を取り付けました。



- これらの対策を行ったうえで
- 6月1日より
- 平日9時30分～17時開館
- 7月1日より
- 平日20時15分まで開館
- ※休日清掃業者による館内清掃除菌作業を契約し8月1日より
- 土・日・祝日も順次開館

制限が多いなか、館内でイベントを開催する団体には「やまゆりテック」が相談に乗り、再開後はじめての落

語会（写真・観客は15名制限をテストケースとして7月6日に実施しました。

この結果を受けてガイドラインの一部修正を行い、8月以降に実施する団体イベント利用のガイドにしていきたいと思います。

また、コロナ関連で予約をキャンセルする団体には支払い済み利用料の返金を行うなどの対応をしています。

新型コロナウイルスへの対応は長丁場になると言われています。これからは日常生活と感染拡大防止対策を両立していかなければなりません。感染拡大を予防するために、「新しい生活様式」を日常生活・団体活動に取り入れましょう。コロナ禍、乗り越えよう！ 市民活動のパワー、いまこそ！

理事 三好一義

あさおオモチャとしょかんの再開まで

役所からの自粛要請で3月から活動を休止した。

5月25日の首都圏緊急事態宣言の解除を受けて、活動の主催者である麻生区社会福祉協議会（以下「社協」）と再開に向けての話し合いをはじめた。

6月1日に社協から活動場所である柿生分庁舎のガイドラインが送付された。内容が多岐にわたったため、内容を利用対象の未就学児と保護者に絞り、感染予防対策を重点にした独自のガイドラインを2日に提案。

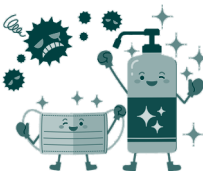
6日に社協の関係者とボランティアが参加して会議を開き、ボランティアが守ることを含めて情報を共有した。

その結果6月18日から定期的に開設することになり、社協のホームページの「あさおオモチャとしょかん」の欄でガイドラインの抜粋を添えて市民に知らせた。

当面使用するマスクと消毒液は社協から提供されたので、3密の回避、会場の換気、オモチャの手洗い・消毒など万全を期して活動したい。

なお、初日の利用者は午前と午後で5組11名と少なかった。

団体代表 中島久幸



取材申込受け付けます!

「活動を紹介して欲しい」「イベントを取材して」そんな声に区民記者が応えます。お申込みいただいた内容については編集会議で可否を検討したうえ、改めてご連絡させていただきます。

●応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・在学・在勤など麻生区に関わる方が活動に参加している。

●申し込み方法

- ①団体名 ②代表者名 ③連絡先(電話・FAX・メール)
- ④活動内容(イベントの場合は開催日時・料金・内容)を、FAXまたはメールでご連絡ください。

FAX.044-951-6467

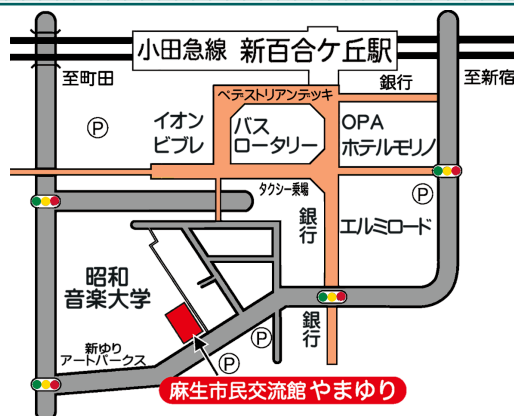
Mail  info@asao-ku.net

※但し、選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、営利目的の団体・個人、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。

あさお区民記者

「区民による 区民のための情報発信」を目的に活動。過去の記事や取材後記はホームページをご覧ください。

<https://www.asao-ku.net>



〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-5
Tel.044-951-6321 Fax.044-951-6467
URL <https://web-asao.jp/yamayuri/>
Access 小田急線「新百合ヶ丘駅」南口から徒歩4分